複数の内部炭素価格を用いている場合の開示

2025 年 7 月 31 日公表

目　的

1.　本文書は、複数の内部炭素価格を用いている場合の開示を作成するにあたり参考となる情報を提供することを目的としています。

キーワード
内部炭素価格、カーボン・プライシング、複数の内部炭素価格

何が求められているのか

2.　SSBJ 基準は、内部炭素価格を意思決定に用いている場合、内部炭素価格の適用方法及び内部炭素価格を開示することを求めています。

> 産業横断的指標等に関連して、次の事項を開示しなければならない。（気候基準第 46 項）
> (6)　内部炭素価格（第 83 項参照）

> 第 46 項(6)に関連して、次の事項に関する情報を開示しなければならない。（気候基準第 83 項）
> (1)　内部炭素価格を意思決定に用いている場合、次の事項に関する情報
> ①　内部炭素価格の適用方法（例えば、投資判断、移転価格及びシナリオ分析）
> ②　温室効果ガス排出に係るコストの評価に用いている内部炭素価格（温室効果ガス排出のメートル・トン当たりの価格で表す。）
> (2)　内部炭素価格を意思決定に用いていない場合、その旨

複数の内部炭素価格を用いている場合とは

3.　内部炭素価格は、全社で単一の目的において単一の内部炭素価格を用いる必然性はなく、同じ目的において複数の内部炭素価格を用いている場合や、複数の目的で内部炭素価格を用いている場合があると考えられます。

4.　例えば、炭素税や環境規制は法域によって異なることから、意思決定に用いる内部炭素価格は、親会社と海外子会社とで異なる場合があると考えられます。また、同様の理由から、低炭素製品の研究開発への投資、生産設備への投資、移行リスクに関するシナリオ分析等、内部炭素価格の使用目的によって、意思決定に用いる内部炭素価格は異なる場合があると考えられます。

SSBJ ハンドブックは、サステナビリティ基準委員会（SSBJ）事務局が SSBJ 基準を利用される方の便宜を考慮して作成したものであり、サステナビリティ基準委員会の審議を経ていない。
また、SSBJ ハンドブックに含まれる本文書は、公表日又は更新日現在のものであり、今後、更新する場合がある。

複数の内部炭素価格を用いている場合の開示

5. 企業が、同じ目的において複数の内部炭素価格を意思決定に用いている場合、基本的に、それぞれの内部炭素価格を開示することになると考えられます。ただし、重要性がある情報が不明瞭にならない範囲において、同じ目的に用いている内部炭素価格を範囲（例えば、最小値と最大値）で示すことができると考えられます。

6. また、企業が、複数の目的で内部炭素価格を意思決定に用いている場合、それぞれの目的について内部炭素価格に関する情報を開示する必要があると考えられます。

設 例

設例は、SSBJ 基準の定めについて理解を深めるために参考として示す一例であり、各企業の実情等に応じて考慮事項は異なることにご留意ください。

1. 同じ目的において複数の内部炭素価格を意思決定に用いている場合の開示例

(1) それぞれの内部炭素価格を開示する場合

（単位：円/t-CO_2e）

	202X 年～2030 年	2031 年～2050 年
生産設備への投資		
日本	9,000	18,000
欧州	18,000	36,000
その他	5,000	10,000

（注）外貨建ての内部炭素価格は、報告期間の末日の為替相場で換算しています。

(2) 内部炭素価格を範囲で開示する場合

（単位：円/t-CO_2e）

	内部炭素価格
生産設備への投資	5,000～36,000

（注）外貨建ての内部炭素価格は、報告期間の末日の為替相場で換算しています。

SSBJ ハンドブックは、サステナビリティ基準委員会（SSBJ）事務局が SSBJ 基準を利用される方の便宜を考慮して作成したものであり、サステナビリティ基準委員会の審議を経ていない。
また、SSBJ ハンドブックに含まれる本文書は、公表日又は更新日現在のものであり、今後、更新する場合がある。

2. 複数の目的で内部炭素価格を意思決定に用いている場合の開示例

（1） 目的ごとにそれぞれの内部炭素価格を開示する場合

（単位：円/t-CO_2e）

	日本	欧州	その他
低炭素製品の研究開発への投資	10,000	20,000	6,000
生産設備への投資	9,000	18,000	5,000
固定資産の減損損失の測定	5,000	10,000	3,000
移行リスクに関するシナリオ分析	20,000	40,000	12,000

（注）外貨建ての内部炭素価格は、報告期間の末日の為替相場で換算しています。

（2） 目的ごとに内部炭素価格を範囲で開示する場合

（単位：円/t-CO_2e）

	内部炭素価格
低炭素製品の研究開発への投資	6,000～20,000
生産設備への投資	5,000～18,000
固定資産の減損損失の測定	3,000～10,000
移行リスクに関するシナリオ分析	12,000～40,000

（注）外貨建ての内部炭素価格は、報告期間の末日の為替相場で換算しています。

関連する SSBJ ハンドブック

- 「内部炭素価格」

SSBJ 基準の定めは、重要性がない項目に対して適用する必要はないことにご留意ください。

以 上

SSBJ ハンドブックは、サステナビリティ基準委員会（SSBJ）事務局が SSBJ 基準を利用される方の便宜を考慮して作成したものであり、サステナビリティ基準委員会の審議を経ていない。
また、SSBJ ハンドブックに含まれる本文書は、公表日又は更新日現在のものであり、今後、更新する場合がある。